

No33 人工膝関節置換術(入院3週間)を受ける患者さんへ ①

～経口補水療法～

経過	入院日	手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 持参薬がある場合は看護師にお知らせ下さい。(目薬、塗り薬や貼り薬も教えて下さい。) 抗凝固薬、抗血小板薬、抗リウマチ薬を飲んでいる場合は看護師にお知らせください。 痛みがある場合は鎮痛用の坐薬や飲み薬を使います。 血栓予防のため手術をしない方の足に弾性ストッキングを履きます。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術する方の足に印をつけます。 指示のあった薬のみ内服します。 	<ul style="list-style-type: none"> 創部に血液がたまらないようにするための管が入ってきます。 尿道に管が入ってきます。 疼痛を和らげるため、点滴から持続適に痛み止めの薬が投与されるものを使用します。 手術終了後から酸素マスクをつけます。 血栓を予防するために、両足に弾性ストッキングと器械(フットポンプ)を装着します。 手術後に抗生物質の点滴を行います。 手術した方の足を挙上し、膝を冷やします。 	<ul style="list-style-type: none"> 午前、夕方に抗生剤の点滴をします。(夕方の抗生物質で点滴終了) 手術した方の足を挙上し、膝を冷やします
検査 測定	<ul style="list-style-type: none"> 入院後に採血を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 手術へ行く前に検温を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 術後、病室に戻ってから翌朝まで、何度か検温を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血を行います。
入院 生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> ()食になります。 21時以降、食事することはできません。 飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、食事はできません。 AM6時30分・AM10時 まで飲水は可能です。(指示のあった飲料水を摂取してもらいます) 	<ul style="list-style-type: none"> 酸素終了後、水分が開始になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝から食事が開始になります。
	活動	<ul style="list-style-type: none"> 活動に制限はありません。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>手術後に準備して頂きたい物</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スリッパ・運動靴 ②パジャマなどリハビリが行える服 </div>		<ul style="list-style-type: none"> 手術後はベッド上安静となります。 床ずれ防止のために、体の向きを変えるお手伝いをします。 手術した方の膝には装具が着いています。 手術した方の足を挙上し、膝を冷やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドの背もたれを90度まで上げられます。 ベッド上で過ごして頂きます。 排便がある時は便器を使用します。 手術した方の足を挙上し、膝を冷やします
	清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーにお入りください。 手術後数日は入浴ができないので、前日には可能な限りシャワーにお入りください。出来ない場合は看護師が体を拭くお手伝いをします。 			<ul style="list-style-type: none"> ベッド上で体を拭きます。
リハビリ	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>リハビリについて</p> <p>障害のない部分の筋肉まで衰えてしまうのを防ぐために、手術前から運動が大切です。腰上げ運動や、良い方の足を良く動かしましょう。ベッド上で動かないことで「深部静脈血栓症」という合併症を引き起こす可能性があります。</p> </div>				<ul style="list-style-type: none"> ベッド上でのリハビリを始めます。(ベッドの上でゆっくりと自分で足首や指先を曲げるようにしてみてください) 手術した方の膝は体重を掛けることができません。
説明 指導	<ul style="list-style-type: none"> 手術前までに主治医から手術の説明があります。 医師から入院中の診療内容、手術同意書などの説明があります。 麻酔科医師からの説明があります。 入院についてのオリエンテーションを行います。 クリティカルパスの説明を行います。 薬剤師により内服薬の説明をさせて頂くことがあります。 手術同意書を看護師に渡してください。 看護師が手術についての説明を行います。 金曜日入院の方は、手術と麻酔の説明が終わりましたら外出・外泊可能です。 			<ul style="list-style-type: none"> 主治医より御家族へ手術説明があります。 	

ID @PATIENTID

No33 人工膝関節置換術(入院3週間)を受ける患者さんへ②

～経口補水療法～

氏名 @PATIENTNAME

月日	／	／	／	／	／	／	／
経過	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後7日目	術後8～13日目	術後14日目	術後15～22日目 (術後3週目)
治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> 膝に入っている管を抜きます。この時創部の消毒を行う場合があります。 背中に入っている痛み止めの管を抜きます。 尿の管を抜きます。 手術した方の足を挙上し、膝を冷やします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術した方の足を挙上し、膝を冷やします。 	<ul style="list-style-type: none"> 血栓を予防する機械をはずします 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の消毒をします。(前後する場合があります。) 		<ul style="list-style-type: none"> 術後14日以降、傷口のガーゼを外します。 膝の曲げ伸ばしの機械が終了となります。 弾性ストッキングを脱ぎます。 	 <p>退院 のめど ごいす</p>
検査 測定		<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血を行います。 手術部位のレントゲンがあります。 		<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血を行います。 手術部位のレントゲンがあります。 	
入院生活	食事	→			<ul style="list-style-type: none"> 10階食堂を利用することができます。(10日目から利用可能) 	利用時間 朝 7:50～9:10 昼 11:50～13:10 夕 18:00～19:10	
	活動	車椅子乗車で活動できます。		<ul style="list-style-type: none"> 病棟内を歩行器で活動することができます。 		<ul style="list-style-type: none"> T字杖歩行で活動することができます。 	
	清潔			<ul style="list-style-type: none"> 術後4日目以降、傷口に防水ガーゼを貼ってシャワーに入れます。初めは看護師がお手伝いします。 		<ul style="list-style-type: none"> 術後14日目以降、傷口のガーゼを外して、シャワーに入れます。 	
リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 膝の管が抜けてから、車椅子乗車練習をします。 手術した方の膝に体重を全部かけて動くことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリセンターでリハビリを開始します。 起立、歩行器歩行の練習を開始します。 			<ul style="list-style-type: none"> T字杖歩行の練習を開始します。(遅くとも10日目には) 		
説明 指導						<ul style="list-style-type: none"> 退院後の生活について主治医から説明があります。ご家族とお聞き下さい。 退院前日に退院の手続きや次回外来について看護師から説明があります。 退院に関して不明な点があった場合は医師、看護師、理学療法士、薬剤師などにお尋ねください。担当者から説明させていただきます。 	